

■大山倍達 武道家。空手道を究め、'極真'を世界に広めるも、孤立化。梶原一騎の劇画「空手バカ一代」のモデル。

おおやまますたつ

原敬首相暗殺 1921=

日本の植民地だった朝鮮の"稲作のふるさと"全羅北道金堤郡臥龍里で、富裕な農家崔承鉉・金芙蓉の6男1女の第4子に生まれる。本名永宜。

吃音の障害を持ち、両班でもあった父から厳しく育てられ、

海軍軍縮条約1930= 9歳：龍池小学校に入学、まもなく、父のもとで働いていた季節労働者からボクシングを教えられ、
満州事変・・・1931=10歳：

学業不良で、自由奔放に振る舞い、担任の女性教師にラブレターを送って、不良のレッテルを貼られ、隣村の復興小学校に転校。

帝人疑獄事件1934=13歳

この間、兄らは、開明的で親日家でもあった父の意向で日本に留学、

二二六事件・1936=15歳

なんとか卒業し、京城英彰中学校に入学、下宿生活となって解放感に浸り、ソウルYMCAで本格的にボクシングを習い始めると、瞬く間に頭角を現し、自らの腕力に自信をもって暴力沙汰が常態となり、

日中戦争始・1937=16歳

第二次大戦始1939=18歳

大事件起して退学処分。父から勘当され、兄らを追って、釜山で「民族運動家曹寧柱と運命的出会い、石原莞爾の東亞連盟に参加、軍人を志す一方、格闘家・空手家たる曹に魅せられる。

大政翼賛会・1940=19歳

日本に密航、陸軍士官学校への準備として、山梨航空機関学校に入学、創氏改名令で大山虎雄と名乗り、

日米開戦・・・1941=20歳

・・・1942=21歳

繰り上げ卒業。この間、貧窮に苦勞し、金欲しさから悪の道に足を踏み入れ、喧嘩に連戦連勝、

創価学会検挙1943=22歳

結局、陸軍士官学校も不合格となり挫折し、上京。曹寧柱の縁で国柱会に出入りするうち、「船越義珍の空手道に興味を抱き松濤館に入門、

年金+総武装 1944=23歳

朝鮮人徴用令が出され、千葉県館山の飯場に配属、

敗戦・・・1945=24歳

敗戦後、千葉で民族運動、抗争劇に活躍し、GHQの地域治安維持のリーダーになる。在日大韓青年団長となった曹寧柱と再会、再び剛柔流空手の指導を受け、訓練部長・建設隊長に指名され、空手指導役となるが、大乱闘を起して、MPに逮捕され一時留置。

新憲法公布・1946=25歳

早大体育科に入学。田中清玄を媒酌人に、俳優の藤巻潤の実姉智弥子と結婚。娘3人をもうける。ピストン堀口の道場に通いボクシング修業。曹の命で「山籠り」して本格的に空手修行に励み、

新憲法施行・1947=26歳

毛利松平が襲撃されているところを助け、以後生涯支援を受ける。*京都での戦後初の空手選手権で優勝、

極東裁判決・1948=27歳

体育科廃止に伴い、早大を除籍になる。

朝鮮戦争始・1950=29歳

曹に願い出て、民族運動を打ち切り、上京。「剛柔流道場に入門、

独立回復・・・1951=30歳

講道館曾根道場入門。日本初のプロレス興行があり、アメリカ遠征誘われ、田中清玄勧めで、契約金もとに目白に自宅を新築、

メデー事件・1952=31歳

*早くも六段。プロ柔道の遠藤幸吉四段と渡米、全米各地でプロレスラーグレート・東郷の兄弟という設定で試合に出、空手を紹介、ビール瓶の首から上の部分を手刀打ちで切落として、観客から驚嘆され、空手家として名声得て帰国。以後、日本人として振舞うべく、伝説創造に着手。

TV放送始・・・1953=32歳

柔道三段。

自衛隊発足・1954=33歳

自宅に野天道場を開く。「映画に一シーンとして、館山の海岸で牛を倒し(合計47頭、うち4頭は即死)、

55年体制始・1955=34歳

前年対立した力道山と和解。「映画「猛牛と戦う空手」として公開され、全国に名を知られるようになる。

国連加盟・・・1956=35歳

池袋のパレスタジオに大山道場。「田園コロシムで「牛」との格闘」が公開され「日本一の空手家」となる。

なべ底不況・1957=36歳

*早くも六段。世界初の英語による空手技術書「What is Karate」を出版、世界への野望を露わにする。

安保闘争・・・1958=38歳

極真会館の設立に着手、毛利からの資金援助や佐藤栄作のボディガードを務めたことから、

東京マヒョク 1964=43歳

*初代会長に佐藤栄作迎えて、国際空手道連盟極真会館が実現し、以後、弟子らの聖地となるが、同年設立された全日本空手道連盟から「邪道」「異端」のレッテル貼られて孤立して行く。

大学紛争始・1965=44歳

機関誌「近代カラテ」を発刊、

いざなぎ景気1966=45歳

指導員として単身アメリカに渡る。

美濃部都知事1967=46歳

28年ぶりに韓国に帰省、再び民族意識に目覚め、以後毎年渡韓、

震ヶ関バトル 1968=47歳

日本国籍を取得して帰化するも、朝鮮国籍も残す。日本名大山倍達。「倍達」の名は曹に教えられ、伝説の古代王朝倍達国からとったもの。「世界ケンカ旅行」出版。

全共闘・・・1969=48歳

「This is Karate」「100万人の空手」出版。「直接打撃制による初の全日本選手権を開催、

トルビョク・・・1971=50歳

大山モデルとするも実際と異なる梶原一騎の劇画「空手バカ一代」の連載始まると爆発的ブームになり、

日中国交回復1972=51歳

「ケンカ空手」「闘魂」。韓国でも崔倍達をテコンドー一家とした反日的な劇画「大野望」が連載始まり人気。機関誌の発行を梶原の実弟に委ね、{現代カラテマガジン}となり、兄弟の運営する通信教育{マス大手空手スクール}中心に販売され、

石油ショック1973=52歳

「世界ケンカ旅行」が、韓国で「風のファイター」のタイトルで翻訳出版される。

角栄金脈辞任1974=53歳

韓国人妻とも結婚し、2男をもうけるも、日本ではひたすら隠し続ける。

クアンプール事件1975=54歳

梶原の提案でドキュメンタリー映画「地上最強のカラテ」が制作され大ヒットするが、て行くが、極真会館での梶原の発言力が增大するに従い、対立するようになり、メディア界握る梶原に対抗できずにいたが、

JALハイジャック・1977=56歳

「空手バカ一代」の連載終了。

革新大敗北・1979=58歳

この間、韓国でのテコンドー育成にも協力を惜みず、

1980=59歳

第2回全日本選手権を開催時の八百長をめぐって、梶原との関係は急激に悪化、

中曾根内閣・1982=61歳

この年、毛利が日本武道館理事長。

デイズ・ユラント 1983=62歳

梶原兄弟を除名処分。以後、「空手バカ一代」でつくられたイメージ払拭に追われるが、

・・・1984=63歳

この年、毛利が死去。

ジャンボ機墜落1985=64歳

ソウル・オリンピックでテコンドーが採用される。

リクルート事件・1988=67歳

*「空手バカ一代」のイメージから脱することができず、自ら作り上げた伝説に埋もれたまま、

55年体制終・1993=72歳

肺癌による呼吸不全のため、聖路加国際病院に入院し、_没した。

自社さ連立・1994=73歳